

## 第②類医薬品

# かぜのねつ、せき

## エスパーロン感冒薬

### － 非ピリン系 －

「かぜ」にかかると全身に倦怠感が強く現われ、お仕事や家事など日常生活に支障をきたし、さらに体力を消耗して思わぬ病気をひき起すもとともなります。

エスパーロン感冒薬は古くから「かぜ」に用いられている漢方薬「香蘇散」を配合した非ピリン系のかぜ薬です。「香蘇散」をはじめ各成分が協力的に働いて、鼻水、鼻づまり、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛などの「かぜの諸症状」を緩和します。

### ⚠ 使用上の注意

#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)
4. 服用前後は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)授乳中の人。(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5)高齢者。(6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7)次の症状のある人。高熱、排尿困難 (8)次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ	泌尿器	排尿困難
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下
精神神経系	めまい		

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白く見える、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 用法・用量

次の量を食後約30分以内に服用すること。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数	年 齢	1 回 量	1 日服用回数
大人(15才以上)	1包	3 回	3才以上7才未満	1/3包	3 回
11才以上15才未満	2/3包		3才未満	使用しないこと	
7才以上11才未満	1/2包				

- (1)用法・用量を厳守すること。  
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

## 成分・分量

3包（成人の1日服用量）中

はたらき	成 分	含量
古くから「かぜ」に用いられている漢方薬	香蘇散	2,200mg
	コウブシ末	800mg
	ソウウ末	400mg
	チンピ末	600mg
	ショウキョウ末	200mg
	カンゾウ末	200mg
かぜによる悪寒や発熱をおさえ、頭痛や関節、筋肉の痛みを和らげます。	エテンザミド	600mg
かぜによる不快なたん、せきを抑えます。	アセトアミノフェン	540mg
かぜによるくしゃみ、鼻みず、鼻づまりといった諸症状を緩和します。	dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩	45mg
かぜによる諸症状の改善を補助します。	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg
	無水カフェイン	75mg

添加物として、安息香酸、カルメロースCa、ポビドン及びタルクを含有します。（1包量1.425mg）

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない、湿度の少ない涼しい所に保管すること。  
(2)小児の手の届かない所に保管すること。  
(3)他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）  
(4)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

発 売 元

株式会社 **イー・エス・ピー薬品**

〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9

イヤサカビル1階

お問い合わせ先

製造販売元 **渡辺薬品工業株式会社**

富山市水橋北馬場1番7

TEL：076-479-9123